



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

学芸プログラム

通信 No.18

2023年7~8月号

今年もまた、毎日うだるような暑い日が続きました。新型コロナの再流行に合わせて、熱中症対策も大変だったのではないのでしょうか？

そんな夏ではありましたが、せたがやこどもプロジェクト2023の『ワークショップ編』には、たくさんのこどもたちからご応募をいただきました。すべてのお子さんたちをお呼びできないのは本当に心苦しかったのですが、参加してくれたこどもたちは、皆とても元気にワークショップを体験してくれました。こどもたちの楽しそうな顔を見ていると、こちらも嬉しい気持ちになり、元気をもらいます。

ワークショップでは、みんなで一つの作品作りをして、最後に発表会を行います。作品作りの中で、こどもたちはたくさんの会話をすることになります。人と直接触れ合い、意見を交わして、作品を作る。これは、私たちのコミュニケーションにとって、とても大切なことだと思います。他の人と意見が合ったり合わなかったり。でもそれがとても大切なことです。そうすることで、こどもたちは自分以外の世界を知ることになってくれると思うのです。私たちが最初に出会うのは、家族。そして学校に進むと同級生や先生という人々に出会っていきます。さらに、劇場で行うワークショップでは学校以外の同年代のこどもたちと出会う機会になります。そうして、少しずつ自分を取り囲む世界を知ることができ、また広がりを持たせていくことになると思います。

今年のワークショップで、初めての試みとして、「中学生のためのエンゲキワークショップ」でラップ表現がありました。日頃自分たちが心の中で思っている声に出して言えないことを、ラップという表現手段を通して「声」にしてくれたのです。それは、とても切実な心の声でした。家族や、友だちにも日ごろ言えないような悩みごとが、ラップに乗せてからだの外に出てきます。心の内側を見せることで、こどもたちは自分の「今」を表現しているようで、私は大変感動しました。

こどものためのワークショップはまだまだ可能性を秘めています。そして、劇場がこどもたちにとって、世界の窓口になることを願っています。

世田谷パブリックシアター・芸術監督 白井 晃

9月10月のピックアップニュース 8月31日時点

*WS=ワークショップの略

子ども	9月3日(日)~11月12日(日)	『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期)【全16回】 *第1回は8月実施済	劇場で行う子どものための演劇WS
	9月23日(土)	『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ』	劇場で行う子どものための演劇WS
参加区	9月22日(金)、10月30日(月)	『デイ・イン・ザ・シアター』1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ	劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS
地域連携	9月5日(火)~25日(日) 発表会:9月25日(月・祝)	世田谷パブリックシアター×玉川地域社協事務所共催企画 「劇団新風」【全6回+発表】	地域課題をテーマに 作品創作WSと上演
	9月5日(火)、8日(金)、19日(火)、20日(水)、27日(水)、29日(金)	『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』(以下、『巡回団』) 弦巻小学校1年生	学校での演劇WS
	9月8日(金)、12日(火)	『巡回団』二子玉川小学校1年生	学校での演劇WS
	9月21日(木)、26日(火)、28日(木)、10月3日(火)、5日(木)、10日(火)	『巡回団』給田小学校2年生	学校での演劇WS
	9月28日(木)	『巡回団』ほっとスクール城山	学校での演劇WS
	10月4日(水)	「世田谷区立小学校教育研究会児童文化部 実技研修」	教員研修
その他	9月15日(金)	『ともにやの部屋~黒田真史さん』九品仏小学校	文化庁・ユニバーサル公演事業
	9月27日(水)、29日(金)、10月2日(月)	『ともにやの部屋~黒田真史さん』桜丘中学校	文化庁・ユニバーサル公演事業
	10月16日(月)	『ともにやの部屋~黒田真史さん』祖師谷小学校	文化庁・ユニバーサル公演事業
	10月25日(水)	『ともにやの部屋~黒田真史さん』新宿区立落合第6小学校	文化庁・ユニバーサル公演事業
	10月7日(土)、8日(日)	『うけいれる身体・うけいられない身体』 穂の国とよはし芸術劇場プラット	「地域の物語 2022」ツアー公演

2023年7月～8月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム 区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
 地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム 専門家庭教育 …… レクチャーや人材育成の取組 ★ …… 公演と連携しているプログラム

7月

- 1日(土) ● 『デイ・イン・ザ・シアター ～サンタのサマーバージョン編～』
1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ 区民参加
10:30～12:30 はじめての人だけデイ/15:00～17:00 だれでもデイ (進行役:大道朋奈)
- 5日(水) ● 『かなりゴキゲンなワークショップ巡回団』(以下、『巡回団』) 笹原小学校「目の教室」地域連携
(進行役:富永圭一)
- 8日(土) ● 下馬地区アートプロジェクト『極楽フェス2023』地域連携  レポート
- 12日(水) ● 『巡回団』深沢中学校 (進行役:すずきこた、とみやまあゆみ) 地域連携
- 13日(木) ●
- 15日(土) ● 演劇WSラボ・クラブ活動番外編
「100分de名著『ディスタクシオン』を見てやってみるクラブ」① 専門家庭教育
- 16日(日) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」② 専門家庭教育
- 17日(月・祝) ● 『巡回団』笹原小学校「目の教室」(進行役:富永圭一) 地域連携
- 17日(月・祝) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーンフェアクラブ」② 専門家庭教育
- 22日(土) ● 『子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ 7月のユウレイだって色々あるさ編』子ども
13:00～17:00 (進行役:南波圭)
- 24日(月) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Aコース (小学1・2年生) 子ども
- 25日(火) ● 10:30～12:30 『ピンチをたのしもう!』(進行役:富永圭一)
- 26日(水) ● 子どもの夏休み期間に合わせて、小学生(低学年、中学年、高学年)、中学生、高校生にむけた3日間連続の演劇WSを全13コース開催した。2020年のコロナ禍以来中止していた発表会も実施し、参加者の子どもたちが台本のないところからアイデアを出し合って作り上げた作品を、参加者の保護者や劇場関係者から多くの観客の前で発表した。  せたがやこどもプロジェクト2023ワークショップ編開始!!
- 25日(火) ● 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー23 伊藤キム』区民参加 ★
19:00～20:30 トーク (講師:伊藤キム)
- 25日(火) ● 太子堂ワークショップ2023『みんなで演劇』地域連携
- 26日(水) ● 25日(火) 14:00～16:30/26日(水) 10:00～12:30 (進行役:有吉宣人)
- 26日(水) ● ラルンベ・ダンス『エアー～不思議な空の旅～』
関連ワークショップ『こどもダンスワークショップ』子ども ★
11:00～12:15 おやこコース/14:00～15:15 おこさまコース (講師:ラルンベ・ダンス)
- 27日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Bコース (小学1・2年生) 子ども
- 28日(金) ● 10:30～12:30 『サンタさんも、なつやすみ!』(進行役:大道朋奈)
- 29日(土) ●
- 27日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Gコース (小学3・4年生) 子ども
- 28日(金) ● 14:30～16:30 『いろんな色の夏物語』(進行役:とみやまあゆみ)
- 29日(土) ●
- 29日(土) ● アミューズ×世田谷パブリックシアターミュージカル『カラフル』
関連ワークショップ『ミュージカルナンバー』を歌ってみよう!』子ども ★
16:00～17:30 (講師:林アキラ)
- 29日(土) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「いまさらフェミニズムクラブ」② 専門家庭教育
- 29日(土) ● 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー23 伊藤キム』区民参加 ★
19:00～21:00 WS (進行役:伊藤キム)
- 31日(火) ● 「世田谷区中学校教育研究会 演劇教育研究部 合同演劇講習会」地域連携
9:30～17:30 (進行役:有吉宣人、とみやまあゆみ)
「世田谷区中学校教育研究会演劇教育研究部」主催で行われる、世田谷区立の中学生合同の演劇講習会。中学生たちがさまざまな創作や表現方法に触れ、探求することを通じて人に伝える力を養うとともに、区内の中学生同士が交流し、表現活動への意欲を高め合うことを目的に実施された。
- 31日(火) ● ラルンベ・ダンス『エアー～不思議な空の旅～』
関連ワークショップ『パフォーマンスワークショップ』区民参加 ★
19:00～21:00 (講師:ラルンベ・ダンス)
- 31日(月) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(夏休み) 子ども
10:30～16:00 (進行役:大道朋奈)

「日常で起こった大ピンチ」の経験をみんなで出し合い、演劇をつくりました。子どもたちは、最終日の発表会にむけて、どうすれば見ている人に伝わるかを考え、ぎりぎりまで繰り返し練習していました!



「サンタさんの夏の1日」をテーマに、サンタさんが起きてから寝るまでどんなことをしているかをみんなで考え、演劇をつくっていきました。ビニール袋を使って役にあわせた衣装づくりも行いました!

カラフルな布から発想して演劇をつくりました。その色からどんなキャラクターを作り出すか、布をどうまとうか、イメージを膨らませて、奇想天外な物語を創り上げました。



コロナ禍での中止を経て、4年ぶりの開催となりました。約50名の演劇部員たちが集まり、演劇づけとなる1日です。テーマは「自分らしく生きるとは?」。この難題なテーマに最初は戸惑っていた部員たちでしたが、少しずつ対話や思考を重ねて演劇に立ち上げていきました。

日頃「なんで?」と感じていることを出し合い、その疑問を表現する劇をつくりました。また別のグループがその答えを想像して演劇をつくり、「なんで人は死ぬの?」「星はどうして光るの?」「なんでケガは治るの?」といった問いへのユニークなアンサー演劇が生まれていました。



テーマは「スパイ」。ある人物から「世界平和のために、奪われた特別な道具を探し出してほしい」という依頼を受け、さまざまな困難を乗り越えて探し出す劇をつくりました!

「船が沈没し、無人島に流れついた」参加者の子どもたち。そこにある「モノ」と「隠された宝」を想像し、段ボールや布で作って、大ピンチに陥りつつも、宝を探し出す大冒険の演劇をつくりました。

- 10日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Hコース (小学3・4年生) 子ども
- 11日(金) ● 14:30～16:30 『みんなをまきこむ!?ごちゃまぜシアター』(進行役:有吉宣人)
- 12日(土) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「学校が好きじゃない子のクラブ」③ 専門家庭教育
- 13日(日) ● 『メルセデス・アイス MERCEDES ICE』
関連WS「夏の劇場・りんかん学校」
—『メルセデス・アイス MERCEDES ICE』の世界を体験しよう!— 子ども ★  「りんかん学校」今年も開催!!
- 16:30～18:30 (進行役:白井晃)
昨夏、好評だった白井晃芸術監督による「りんかん学校」を今年も開催。この企画は、林間学校で自然を感じるように、本番同様の舞台を感じて、新たな世界に出会い心を動かす体験をしてほしいという監督の願いが込められている。今回は公募で集まった16人の子どもたちが、本作演出の白井晃と一緒に、実際の舞台美術の中で『メルセデス・アイス』の一場面を体験するワークショップが行った。
- 14日(月) ● 『中学生のためのエンゲワークショップ』子ども
- 15日(火) ● 13:00～16:00 『劇場で激情ラップ』(進行役:柏木陽、FUNI)
- 16日(水) ●
- 17日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Eコース (小学1・2年生) 子ども
- 18日(金) ● 10:30～12:30 『サンタさんも、なつやすみ!』(進行役:有吉宣人、大道朋奈)
- 19日(土) ●
- 17日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Iコース (小学3・4年生) 子ども
- 18日(金) ● 14:30～16:30 『世界平和スパイ 世田谷パブリックシアター支部』(進行役:田崎葵)
- 20日(日) ●
- 21日(月) ● 『世田谷パブリックシアター劇場ツアー』区民参加
13:30～15:00/16:30～18:00
劇場をより身近な存在として感じていただくため、芸術監督の白井晃がナビゲートする劇場ツアーを開催。舞台や楽屋、搬入口をご案内しながら、これまでの公演の小道具や衣装なども紹介した。
- 21日(月) ● 『高校生のためのエンゲワークショップ』子ども
- 22日(火) ● 10:30～16:00 『演劇でつくるあなたの物語』(進行役:柏木陽)
- 23日(水) ●
- 22日(火) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社協事務所共催企画
「劇団新風」地域連携
9:00～12:00 WS/13:30～16:30 サロン見学 (進行役:すずきこた)
- 24日(木) ● 「令和5年度 夏季教育課題研修—演劇的手法の活用研修—」地域連携
13:30～16:30 (進行役:すずきこた、とみやまあゆみ)
世田谷区教育委員会が行う夏季教員研修を担当。講師は当劇場契約ファシリテーターが勤め、「学芸会の指導」を課題に具体的な手法を紹介した。
- 24日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Jコース (小学5・6年生) 子ども
- 25日(金) ● 10:30～12:30 『銀河ステーションに出發!』(進行役:青山公美嘉)
- 26日(土) ●
- 24日(木) ● 『Technical Theatre Training Program 2023』
舞台技術講座48th 専門家庭教育
24日(木) 13:00～18:00 舞台音響入門講座 (講師:小笠原康雅)
25日(金) 13:00～18:00 舞台照明入門講座 (講師:柘植幸久)
26日(土) 13:00～17:00/27日(日) 10:00～17:00 舞台技術安全講座 (講師:熊谷明人)
- 25日(金) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社協事務所共催企画「劇団新風」地域連携
9:00～12:00 WS (進行役:すずきこた)
- 26日(土) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「感想クラブ」② 専門家庭教育
- 27日(日) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(2学期) 1/16回目 子ども
13:30～17:00 (進行役:大道朋奈)
年間を通じて実施している中学生対象のWS。演劇部のない学校の中学生たちに、演劇活動の機会を提供している。この2学期は世田谷区立中学校演劇部が出場する「世田谷区立中学校演劇発表会」(10月28日・29日開催)での上演にむけて実施する。
- 28日(月) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Fコース (小学1・2年生) 子ども
- 29日(火) ● 10:30～12:30 『インタビューからエンゲキ』(進行役:すずきこた)
- 30日(水) ●
- 29日(火) ● 演劇WSラボ・クラブ活動「グリーンフェアクラブ」③ 専門家庭教育
- 31日(木) ● 『デイ・イン・ザ・シアター ～かつてに世界遺産!編～』区民参加
1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ
14:00～16:00/18:00～20:00 だれでもデイ (進行役:大西由紀子)

観客を巻き込む参加型演劇に挑戦!自分がやりたい役を決め、グループで一つの物語を創作し、お客様にどう参加してもらえるかを考えました。発表会では、道を教えてもらったり、飛行機と一緒に乗ってもらったりと、いろいろな形でお客様に参加してもらいました!

本番の舞台で使うセットや小道具を使って、「俳優」を経験してもらいました!最初は緊張していた子どもたちも、舞台上でセリフを大声で読んだり、作品に使われた「影のタワー」や「家」「蜘蛛」を動かしているうちに、みんな夢中になって作品の世界に入っていました。



普段は自分の中だけにおさめているけれど、この場に集まった仲間には伝えてみたいと思ったことを言葉にして、リズムにのせ、ラップをつくりました。さまざまな想いが飛び交う大ラップ大会になりました。

「8月31日のサンタさん」を演劇にしました。子どもたちがよい子にしているか確認して回ったり、プレゼントをきちんと配るために漢字のお勉強をしたり、海に潜っておもちゃを探したり。夏のサンタさんもトナカイも大忙しでした。

訓練をして「スパイ」となった子どもたち。宝を取り戻してほしいという依頼を受け、さまざまな罠をくぐり抜けて宝を探し出す劇をつくりました。スリル満点の劇に、発表会では客席から何度も歓声があがっていました。

「普段言えないこと」をテーマに参加者同士インタビューしあい、相手の語った話を書き起こす「聞き書き」に取り組んで、シーンを立ち上げていきました。参加者一人ひとりの想いが現れた力強い作品となりました。



宮沢賢治の未完の作『銀河鉄道の夜』のオリジナル作品をつくりました。作品の内容を知り、自分が考える結末や感じたことを共有した後、物語を20シーンに分け、グループで演劇づくりを行いました。短い時間で、歌やダンスも交えた超大作が出来上がりました。

ネパール出身のゲストを招き、ネパールを旅する演劇を創作しました。子どもたちはたくさんゲストに質問し、印象に残ったお話から演劇を立ち上げていきました。現地の歌やダンスも交えた素敵な作品が完成しました。

8月

- 1日(火) ●
- 2日(水) ●
- 3日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Kコース (小学1～6年生) 子ども
- 4日(金) ● 10:30～15:30 『なんで?探しの旅にいこう!』(進行役:とみやまあゆみ)
- 5日(土) ●
- 7日(月) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Cコース (小学1・2年生) 子ども
- 8日(火) ● 10:30～12:30 『世界平和スパイ 世田谷パブリックシアター支部』(進行役:田崎葵)
- 9日(水) ●
- 10日(木) ● 『小学生のためのエンゲワークショップ』Dコース (小学1・2年生) 子ども
- 11日(金) ● 10:30～12:30 『トレジャーハンティング!!』(進行役:青山公美嘉)
- 12日(土) ●



下馬地区アートプロジェクト『極楽フェス'23』

実施日：2023年7月8日(土) 10時30分～16時 **会場**：世田谷ボランティアセンター、おともだち保育園、下馬アパート第3集会所、下馬アパート第1集会所、世田谷福祉作業所
主催：下馬2丁目北町会、社会福祉法人日本フレンズ奉仕団(フレンズホーム、フレンズケアセンター、おともだち保育園、下馬あしんすこやかセンター)、社会福祉法人世田谷ボランティア協会(世田谷ボランティアセンター、ケアセンターふらっと、地域障害者相談支援センターぼーとせたがや、パートナーセンター)、社会福祉法人せたがや榎の木会(世田谷区立下馬福祉工房)、社会福祉法人武蔵野会(世田谷区立世田谷福祉作業所)、社会福祉法人奉優会(優っとり村下馬、優っとり村池尻)、世田谷消防団第14分団、地域のこを話す会、三宿病院「訪問看護ステーション」、公益財団法人せたがや文化財団 **共催**：野沢児童館

下馬地区アートプロジェクト「極楽フェス」は、主に下馬地区で活動している団体・組織が運営に携わり、それぞれの特性を活かしながら下馬地区の横のつながりをつくり、死に向かう生をいかに生きていくかを考えることを目指しています。参加型演劇、読み聞かせ、お店、相談コーナーなどバラエティ豊かなプログラムを実施しました。3年目となる今年は、会場も5カ所に増え、子どもから高齢者までたくさんの人で賑わい、地域全体のつながりや、支え合える社会について互いに考える機会となりました。ここでは、世田谷パブリックシアターの取組みをご紹介します！

会場全体

『なんちゃってちんどん・極楽や』

進行：青木拓磨、柏木陽、笠村勇樹

「極楽フェス」のテーマソング「極楽ソング」などを鳴らしながら、会場間を練り歩きました。会場まで足を運ぶことが難しい利用者さんのいる施設も訪ね、演奏と歌をお届け。利用者さんたちは一緒に口ずさんだり、手を振ってくれたり喜んでくださり、「極楽や」一同、逆に元気をいただきました！



おともだち保育園

『ともにやの部屋～中川陽子さん』

司会：大道朋奈

出演：大道朋奈、有吉宣人、大塚由祈子、高野菜、中川陽子

協力：ケアセンターふらっと

「ともにやの部屋」は、障害当事者と福祉施設職員の「障害者のことを地域の人に知ってほしい」という思いを受け、ともにや(大道朋奈)をはじめとする俳優たちが障害のある方へのインタビューから演劇をつくるシリーズ。今回は、デザイナーとして仕事に恋にまみ進んでいた30代で脳溢血を起こし高次脳機能障害となった中川陽子さんが、通所介護施設に通いながら、人生を取り戻していった姿が軽やかに描かれました。観客からは「自分と重なる部分があり考えさせられた」「これから中川さんが作られる作品が楽しみ」などの声が寄せられ、中川さんご本人と観客との交流も生まれていました。



『ひらけ絵本!』

読み手：有吉宣人、大道朋奈

俳優によるアクティブな絵本の読み聞かせ。絵本を読むだけでなく、内容に合わせて身体を動かす遊びを取り入れ、参加の親子が交流するプログラムも盛り込みました。観客の子どもたちからは、「ただ聞いただけじゃなかったから楽しかった!」「また見たい」という声があがっていました。

下馬アパート第一集会所

『下馬兵舎時代の思い出の絵地図』

進行：阿部健一 **協力**：下馬アパートの昔をご存じの皆様、uni

2021年の「極楽フェス」からはじまった企画。旧陸軍の兵舎が立ち並んでいた「下馬の兵舎時代(昭和20～30年代)」を知る方々に当時のお話を伺い、1枚の地図にまとめて展示しました。当日いらした方々からもたくさんの思い出話を伺い、当時は知らない方からは「いきいきとした当時の生活の様子が知れてよかった」など反響の声をいただきました。この絵地図づくりはこれからもじっくりコトコト続けていきたいと思ひます。

『葬送とお墓をめぐるアレコレ』

進行：花崎攝 **デザイン**：川勝有子

「あなたのお墓はどこですか?」「どんなお墓、葬送を希望しますか?」といった質問を、会場を訪れた人たちに投げかけ、その答えをボードに貼って残してもらいました。「これからどのように老いていきたいか、見送られたいか」を考えるきっかけづくりとして実施したものです。老いや死など、普段は避けがちな話題ですが、たくさんの人たちが足をとめて気軽に話してくれました。



『写真クラブ・極楽』

進行：金川晋吾 **写真**：「写真クラブ・極楽」参加者

65歳以上の下馬地区にお住まいの皆さんと定期的に開催している「写真クラブ・極楽」。参加者の方々が日常で撮影した写真に、その撮影者本人による撮影日の短い日記を添えて展示しました。写真と言葉の間に生じる余白が、見る人に様々なことを喚起させる内容となりました。



『「支えること」についての小さな劇』

出演：戈文来、松田文、山本雅幸

下馬地区に住んでいる人の「生活を支えること」を仕事としている方へのインタビューからつくった演劇作品。今回は、2023年3月まで「下馬福祉工房」で働いていた長見亮太さんにインタビューしました。長見さんは、知的障害のある利用者さんと、いつも元気に、楽しく、ユーモアを持って日々お仕事をされていました。そんな長見さんの思いを演劇にし、利用者さんを含めた下馬地区の人たちに楽しんでもらうことができました。

